

【様式 2】

学校関係者評価書

学校名 唐津市立第五中学校

1 学校関係者評価実施状況

- (1) 実施日 令和 7 年 2 月 2 0 日 (木)
- (2) 資料 学校評価結果、学校評価アンケート

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・目標の設定は、佐賀県の教育施策に則ったもので、且つ、近年の学校の現状を聞き妥当なものであったと思う。また、取組の説明を聞き概ね達成できたと思われる。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・取組内容や成果指標は困難でも簡単でもなく、また、アンケートや各種の調査統計をよりどころとしており、その評価も適正に行われていたと感じた。

③改善方策の適切さ

- ・前年度の課題を踏まえ、具体的に取り組んでいると思う。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・学校の説明から各教育活動の目標は学校目標や学校の現状に見合ったものになっていたと思う。様々な研修や実践が行われ、アンケートの結果からも先生方の取組の状況がうかがえた。その結果として、目標は概ね達成されていたと思う。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・学校評価（最終評価）の A 評価については、きちんと取り組まれており妥当である。
- ・B 評価については、原因が分析されており、今後の改善が見込まれる。また、目標の設定値が高すぎたのではないかと。少し下げてもよいのではないかと。
- ・近年増えている不登校に対する取組やいじめについての取組は、毎月の生活アンケートの実施や教育相談の体制の構築、いじめ事案への対応など十分に行われていることがうかがえた。
- ・保護者アンケート結果が、生徒より低めに出ていることから保護者に対してもっとアピールをしてはどうかと思う。

③改善方策の適切さ

- ・学校の状況の説明や取組の説明を聞いて、先生方が生徒の状況に応じて様々な取組をされていることが分かり改善方策は適切に行われていると感じた。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・全国学力・学習状況調査、県学習状況調査の結果についてはやや低いと感じる。今後の取り組みに期待したい。
- ・SNS 等の弊害があるようだが、学校だけでは難しいのではないかと。保護者・関係機関との連携さらに必要なのではないかと。
- ・五中 Well-Being-Club の取組は大変良い。もっと外に向かって活動してもよいのではないかと。
- ・先生方の働き方改革の項目では評価が B となっていることに対して、先生方の仕事は青天井で限りないものだということを感じた。先生方も体と心に気を付けてほしいと思う。

等のご意見をいただいた。